

ERE information

Vol. 16 2009年9月7日発行

発行／特定非営利活動法人 日本経済学教育協会・事務局 発行責任者／斧崎 幸彦
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3番21号／電話(03)3267-4819／e-mail:info@ere.or.jp

Contents

- ▶ 『ERE』『EREマイクロ・マクロ』において、ともに「マクロ経済学」は良好！
- ▶ 創価大学経済学理論同好会が4連覇達成、政治経済攻究会（早稲田大学）の記録と並ぶ！
- ▶ 大学対抗戦：優勝・準優勝チーム、個人賞トップのコメント
- ▶ 受験者の声～財務省編：行政における経済学の位置づけについて
- ▶ [資料] 大学院入試におけるEREの利用概況

《第16回ERE（経済学検定試験）試験結果》

- ▶ 『ERE』『EREマイクロ・マクロ』において、
ともに「マクロ経済学」は良好！

2009年7月5日（日）に実施いたしました、第16回ERE／EREマイクロ・マクロの成績結果等がまとまりました。今回の成績概要は次表のとおりですが、マイクロ経済学においては新傾向の問題が出題されていたことより、やや苦戦したことがうかがわれます。一方、マクロ経済学においては、平均点で前回をやや上回り良好な結果となりました。

また、低い結果がでる傾向にある金融論・統計学においては、僅かに前回を上回る結果となりましたが、財政学・国際経済を含め、前年に比べ大きな変動はありませんでした。

《資料1-1》科目別成績

『ERE』

科目	マイクロ経済学	マクロ経済学	財政学	金融論	国際経済	統計学
配点	250点	250点	100点	100点	100点	100点
平均点	110.7点	130.3点	52.0点	48.3点	44.2点	39.7点
（前回）	139.1点	127.0点	61.8点	47.1点	47.6点	38.3点
標準偏差	43.28	54.49	23.91	24.13	23.46	21.96
（前回）	37.67	47.37	20.72	20.33	24.14	17.46

《資料1-2》

『EREミクロ・マクロ』

科目	ミクロ経済学	マクロ経済学
配点	250点	250点
平均点	89.2点	100.3点
(前回)	99.9点	91.3点
標準偏差	31.50	38.55
(前回)	35.76	36.96

《資料2》成績概要

	ERE	EREミクロ・マクロ
応募者数	161名	1,251名
受験者数	108名	1,035名
平均点	425.3点	189.6点
標準偏差	160.23点	60.35点
最高得点	760点	450点
最低得点	90点	50点

《資料3》団体別応募状況

ERE/EREミクロ・マクロ					
1	同志社大学	112名	19	関東学院大学	19名
2	東京国際大学	110名	20	長崎大学	18名
3	日本大学	73名	20	名古屋学院大学	18名
4	成蹊大学	71名	20	明治大学	18名
5	愛知大学	56名	23	九州産業大学	17名
6	大分大学	49名	23	慶應義塾大学	17名
7	法政大学	45名	25	長崎県立大学	16名
8	酪農学園大学	38名	25	立命館大学	16名
9	福島大学	36名	27	大原簿記公務員(専)小倉校	15名
10	大阪商業大学	34名	28	財務省	14名
11	中央大学	33名	29	姫路獨協大学	13名
12	埼玉大学	32名	30	和歌山大学	12名
13	創価大学	29名	31	岩手県立大学	11名
14	大原公務員医療(専)福岡校	26名	31	熊本学園大学	11名
15	高崎経済大学	25名	31	香川大学	11名
16	弘前大学	23名	34	旭川大学	10名
16	早稲田大学	23名	34	熊本壺溪塾学園	10名
18	広島修道大学	22名	34	札幌学院大学	10名

《資料4》ERE上位成績者

順位	大学・勤務先名	所属	氏名(敬称略)	ランク
1	創価大学	経済学部	三田光洋	S
1	創価大学	経済学部	中井秀幸	S
3	福島大学	経済経営学類	安田雄一	A+
3	財務省	財務総合政策研究所	北條敬貴	A+
5	財務省	財務総合政策研究所	酒井才介	A+
6	早稲田大学	政治経済学部	野崎裕嗣	A+
7	財務省	財務総合政策研究所	飯田薫	A+
7	財務省	財務総合政策研究所	小中章雄	A+

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名（敬称略）	ランク
7	財務省	財務総合政策研究所	染 谷 浩 史	A+
10	慶應義塾大学	文学部	蛇 塚 祐 生	A+
10	創価大学	経済学部	寺 田 和 之	A+
12	福島大学	経済経営学類	丹 治 億 勇	A
13	（非 公 開）			A
13	財務省	財務総合政策研究所	坂 本 智 章	A
15	京都大学	経済学部	弘 中 孝 明	A
16	財務省	財務総合政策研究所	（非公開）	A
17	熊本壺溪塾学園	公務員専攻科	濱 名 崇 英	A
18	熊本壺溪塾学園	公務員専攻科	中 野 誠 也	A
19	獨協大学	経済学部	川 内 誠 也	A
19	財務省	財務総合政策研究所	宮 地 和 明	A

《資料5》 E R E ミクロ・マクロ上位成績者

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名（敬称略）	ランク
1	創価大学	経済学部	小 島 健	S
2	神奈川県庁	商工労働部	古 川 一	S
3	福島大学	経済経営学類	奥 山 拓 生	S
4	学習院大学	経済学部	丸 山 侑 子	S
4	慶應義塾大学	経済学部	渡 邊 正 太 郎	S
4	創価大学	経済学部	三 谷 輝 義	S
4	大原公務員医療専門学校 福岡校		（非公開）	S
8	京都大学	経済学部	郭 秋 薇	S
9	福島大学	経済経営学類	牧 野 裕 一	S
9	埼玉大学	経済学部	大 谷 昌 弘	S
9	創価大学	経済学部	森 岡 久 美	S
9	大原公務員医療専門学校 福岡校・九州大学	経済学部	阿 部 智 史	S
13	福島大学	経済経営学類	八 卷 博 人	S
13	上智大学	経済学部	高 橋 洵	S
13	（非 公 開）			S
13	埼玉大学	経済学部	谷 川 貴 彦	S
17	早稲田大学	商学部	葛 西 侑 司	S
17	神戸大学	工学部	上 中 真	S
19	中央大学	総合政策学部	成 澤 優 拓	S
19	新日本有限責任監査法人		荒 木 和 郎	S
19	東京大学	経済学部	坂 倉 伊 織	S
19	筑波大学	社会・国際学群・社会学類	永 石 ま み	S
19	中央大学	経済学部	塩 原 敏 裕	S
19	京都大学	経済学部	西 津 鷹 弥	S

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名（敬称略）	ランク
19	京都大学	経済学部	宇野雄哉	S
26	福島大学	経済経営学類	伊藤達郎	S
26	埼玉大学	経済学部	新谷竜児	S
26	創価大学	経済学部	杉本大紀	S
26	創価大学	経済学部	松尾雄太郎	S
30	福島大学	経済経営学類	浮ヶ谷佳映	S
30	上智大学	経済学部	関俊祐	S
30	早稲田大学	国際教養学部	今村直宏	S
30	東京工業大学	工学部	高橋清貴	S
30	埼玉大学	経済学部	大塚啓史	S
30	創価大学	経済学部	佐藤浩司	S
30	立命館大学	経済学部	西田龍仁	S
30	尾道大学	経済情報学部	青木健二	S
30	熊本県（職員）		平野智久	S
30	東京国際大学	経済学部	羽賀田悦正	S

《第11回大学対抗戦》

▶創価大学経済学理論同好会が4連覇達成、 政治経済攻究会（早稲田大学）の記録と並ぶ！

第11回「大学対抗戦」（2009年7月5日実施）は、新たに「経済学研究会チーム（名古屋学院大学）」がエントリーし9校12チームのもと行われました。その結果、「創価大学経済学理論同好会」が1,700点を獲得し、「政治経済攻究会（早稲田大学）」が持つ歴代連覇達成記録に並ぶ4連覇を達成いたしました。

準優勝は、優勝チームに対して10点の僅差で惜しくも優勝を逃しましたが、前回の準優勝チームでもある「経済分析同好会（福島大学）」です。今回は、優勝と準優勝との得点差が前回の310点から10点に大幅に縮まり、優勝・準優勝チームからは、それぞれ9名と6名の個人賞獲得者が出ています。

そして、第3位には、「FISK000（埼玉大学）」が入り、得点は1,350点でした。

「大学対抗戦」個人成績のトップは、安田雄一さん（福島大学）です。安田さんはミクロ経済学では満点で、ミクロ・マクロの合計では過去最高点の490点を獲得する好成績を収めました。

個人賞は、330点以上20名の方が受賞されました。個人賞受賞の皆さまには、日本経済学教育協会ならびに協賛団体より副賞が授与されます。

次回、第12回「大学対抗戦」は、12月6日（日）に開催します。参加チームのますますのご研鑽を祈念しております。

順位	チーム名	学校名	総合得点	平均点
優 勝	創価大学経済学理論同好会	創価大学	1,700点	425.0点
準優勝	経済分析同好会	福島大学	1,690点	422.5点
3 位	FISK000	埼玉大学	1,350点	337.5点

*参加メンバーの上位4名の総合成績です。

■大学対抗戦：優勝・準優勝チーム、個人賞トップのコメント■

☆優勝 創価大学経済学理論同好会

通学の往復時間や授業の合間を最大限に利用

『この度は早稲田大学と同成績である4連覇を勝ち取ることができ、大変に嬉しく感じております。以前にも増して、終始応援し励ましてくださった創業者、教職員の方々をはじめとする皆さま方に心からお礼申し上げます。

今回の優勝を勝ち取ることができた要因は、時間を最大限に活用したことにあると考えます。今回は皆が忙しく時間が合わなかったため、勉強会を多くとることができませんでした。しかし忙しいからこそ、それぞれが電車での往復時間や授業と授業の合間などでE R Eの勉強時間を作り出し、1問でも多く解いたことが勝利へとつながったのだと感じています。今後も勉学に励んでいきますので、是非とも皆さん、次回もお手合せをお願いします。』

(創価大学経済学理論同好会部長 小島健さん)

☆準優勝 経済分析同好会 (福島大学)

新聞やニュースを見るのが大分楽になった

『前回に続き今回も準優勝という結果を残すことができ大変うれしく思っています。このような結果を残せたのも、各自の自発的な学習や仲間同士での勉強会などを通した日々の努力の成果であると思います。主には、公務員試験関連の問題集や武隈先生のマイクロ演習を解いてみたりしました。またマクロ経済学を専門とするゼミだったので、ゼミで学んだことも非常に生かされたように感じています。

E R Eの問題を解いていけば、実際の経済を分析する力も養うことができます。何より、新聞やニュースを見るのが大分楽になり、少しずつではありますが、政治経済を「語る」ようにもなってきました。今後もE R Eの学習を続けながら知識を増やしつつ、卒論研究などに活かしていきたいと考えています。』

(福島大学 経済経営学類4年 奥山拓生さん・丹治億勇さん 共同コメント)

☆個人賞トップ 安田 雄一さん

自分の習熟度が得点に反映されている

『ともに切磋琢磨しあった仲間、丁寧に指導してくださった先生方をはじめ、多くの人の支えによってこのような結果を残すことが出来ました。しかし、マイクロ・マクロ以外の科目はふがない結果に終わり、勉強不足を痛感しています。

今回で3回目のE R E受験(大学対抗戦への参加は2回目)となりましたが、自分の習熟度が得点にしっかり反映されているという実感があり、日々の励みになっています。サークル活動の目標としても利用しやすいので、今後も継続して参加していければと考えています。

もう一步のところで優勝を逃した大学対抗戦とともに、E R Eの個人成績でもトップをめざして精進していきたいと思えます。』

(福島大学 経済経営学類4年 安田雄一さん)

第12回 「大学対抗戦」参加チーム募集

- 2009年12月6日（日）実施
- 受付期間 9月24日（木）～ 10月23日（金）〈消印有効〉
エントリー料（無料）

☆ 団体賞

▼「ダイヤモンド賞」

優勝チームには、表彰状と受験者全員に3,000円の図書カード、協賛のダイヤモンド社より受験者全員に「週刊ダイヤモンド」を3ヵ月間無料贈呈。

▼「経済セミナー賞」

準優勝チームには表彰状、協賛の日本評論社から受験者全員に月刊「経済セミナー」を6ヵ月間無料贈呈。

☆ 個人賞の副賞

①「ファイナンシャル・プランナーズ賞」

日本ファイナンシャル・プランナーズ協会より、月刊誌『FPジャーナル』が6ヵ月間無料贈呈されます。

②「金融知力賞」（上位5名）

金融知力普及協会より、金融知力プログラムの通信講座『ベーシックコース』の無料受講票が贈呈されます。

③「日経賞」（個人賞Sランク者）

日本経済新聞社主催の「日経TEST受験券」と「やさしい日経経済用語辞典」一冊が贈呈されます。

【参 考】

今までの参加校（*印は直近の第11回「大学対抗戦」参加校） <50音順>

青山学院大学 宇都宮大学 大阪大学 *大阪商業大学 小樽商科大学
*慶應義塾大学 九州大学 京都大学 *熊本壺溪塾学園 *埼玉大学 上智大学
*創価大学 高崎経済大学 中央大学 *筑波大学（同大学院） 東京大学
同志社大学 東洋大学 長崎県立大学 名古屋大学 *名古屋学院大学
名古屋経済大学 新潟大学 日本大学 一橋大学 福岡カレッジ・オブ・ビジネス
*福島大学 武蔵大学 山形大学 立命館大学 和光大学 *早稲田大学

（以上32校）

行政における経済学の位置づけについて

現在勤務している財務省では、入省4年目職員を対象に財政経済理論研修が行われています。私は本年4月より3ヶ月間その研修を受講し、ミクロ経済学、マクロ経済学をはじめとする経済理論を体系的に学ぶ機会を得ました。そこで学んだ内容がどの程度習得できているのかを試すという観点から今回E R Eを受験しました。体系的に経済学を勉強するのは公務員試験以来でしたが、経済理論研修の受講やE R Eに向けての勉強を通して、経済学のおもしろさ、また奥深さを感じることができました。

E R Eの感想とは別に、今回はよい機会ですので、行政における経済学の位置づけについて、簡単にご紹介したいと思います。私は入省してすぐに大臣官房総合政策課に勤務し、1年目は日本経済の調査・分析、2年目は経済財政や社会保障などの将来推計を担当していました。総合政策課では、マクロ経済学や計量経済学などの経済理論をベースとした調査・分析が求められ、行政の中でも経済学は重要なツールとして用いられています。また、政策の効果を検証したり、長期的な経済の姿を見通す上では、経済理論は不可欠なものであり、今後長期的な視点が求められる行政において、経済学の重要性はますます高まっていくものと考えられます。私自身としても経済学の知識をさらに深めて、経済政策立案の一翼を担っていければと考えています。

財務省国際局地域協力課国際調整室 調整第一係長
北條 敬貴さん

〔資料〕大学院入試におけるE R Eの利用概況

大学名	利用概況
小樽商科大学	E R Eミクロ・マクロの成績が一定のランク基準を満たした場合、専門科目の試験を免除。
一橋大学	大学院公共経済プログラム第1次選抜試験で、E R Eミクロ・マクロの成績が一定基準を満たした場合、専門科目の試験を免除。
明海大学	学内推薦枠で大学院進学を希望する学生に受験を奨励。経済学研究生はE R Eミクロ・マクロの受験が必須。
明治学院大学	2007年度より、大学院経済学研究科の一般入試にE R Eミクロ・マクロを導入。
成蹊大学	2009年度入学者より、大学院経済経営研究科博士前期課程一般入試において、E R E、E R Eミクロ・マクロの成績が一定条件を満たした場合、専門科目の試験を免除。
拓殖大学	2科目選択する論文試験において、ミクロ経済学・マクロ経済学を選択した場合、その受験成績とE R Eミクロ・マクロの成績を比較し良い方を選択。
早稲田大学	大学院経済学研究科では、2009年度入試より修士課程一般入試において、E R E、E R Eミクロ・マクロのいずれかの成績が一定条件を満たした場合、経済学の試験を免除。

大学名	利用概況
学習院大学	大学院経済学研究科で、2008年度博士前期課程一般入試から、E R E方式（一定以上のランク取得者は筆記試験を免除）を採用。
新潟大学	大学院入試でE R Eの成績が一定のランク基準を満たした場合は、専門科目の試験を免除。
大阪府立大学	2010年度の募集から、大学院入試の共通問題を廃止し、E R E、E R Eマイクロ・マクロを完全代用。
久留米大学	大学院入試の代用にE R Eを導入。一定のランク基準を満たした場合は、専門科目の試験を免除。
長崎大学	大学院経済学研究科では、2009年度募集より大学院入試にE R Eマイクロ・マクロを導入。

※利用概況の詳細につきましては、各大学にご確認ください。

●第17回E R E（経済学検定試験）実施要綱

『E R E』実施要綱

実施回	第 17 回
試験日	2009年12月6日（日）
試験時間	午後1時00分～午後4時00分（180分）
受付期間	2009年9月24日（木）～2009年10月23日（金）〈消印有効〉
受験料	5,250円（税込）
出題科目	マイクロ経済学／マクロ経済学／財政学／金融論／国際経済／統計学
出題形式	4答択一式／90問，1問10点，900点満点
持込品	受験票、筆記用具（HB程度の鉛筆またはシャープペンシル（ボールペンは不可）、消ゴム）、電卓（ただし、金融計算電卓・関数・メモ機能付は不可）、顔写真付身分証明証（学生証・運転免許書・パスポート等）

『E R Eマイクロ・マクロ』実施要綱

実施回	第 17 回
試験日	2009年12月6日（日）
試験時間	午後1時00分～午後2時40分（100分）
受付期間	2009年9月24日（木）～2009年10月23日（金）〈消印有効〉
出題科目	マイクロ経済学／マクロ経済学（注）
受験料	3,150円（税込）
出題形式	4答択一式／50問，1問10点／500点満点
持込品	受験票、筆記用具（HB程度の鉛筆またはシャープペンシル（ボールペンは不可）、消ゴム）、電卓（ただし、金融計算電卓・関数・メモ機能付は不可）、顔写真付身分証明証（学生証・運転免許書・パスポート等）

（注）『E R E』のマイクロ経済学・マクロ経済学と同一問題です。